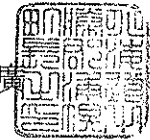




浦政策第63-2号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

浦幌町長 水 澤 一 廣



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について
平成19年4月2日付け国道企第114号をもって依頼のあったこのこと
について、別添のとおり提出しますのでよろしくお取り計らい願います。

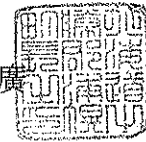
(まちづくり政策課企画振興係)
TEL015-576-2112 (直通)

中期的な計画の作成にあたっての意見書

浦幌町におきましては、道路整備・維持管理について、地域住民が実現を強く要望している事項も踏まえ、別記事項について、今回の道路整備の中期的な計画の作成に向けて意見を申し上げます。

平成19年5月8日

浦幌町長 水 澤 一 廣



1. 今後の道路政策や道路の整備・管理全般について

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的かつ重要な社会資本であります。少子・高齢化が急速に進展していく21世紀において、豊かな生活、活力ある地域社会、安全で安心できる国土の実現のためには、将来にわたって、国民共通の資産である道路を計画的に整備することが重要と考えます。

特に、広大な面積を有し、広域分散型社会を形成し、自動車交通への依存度が高い北海道にとって、地域経済の活性化や地域間交流の活性化、住民が安心して暮らすことのできる快適で潤いのある生活環境の実現を図るためには、今後とも計画的な道路整備・維持管理の促進が必要であります。

浦幌町においては、北海道横断自動車道及び国道の整備は人的交流の促進や物流の効率化をはじめとし、地域の自立に向けた様々な整備効果が見込まれ、地域住民ともども整備促進・早期完成を期待しています。

2. 道路特定財源制度の維持及び道路整備予算の確保・充実等について

「道路特定財源の見直しに関する具体策」が示されたところですが、今後も道路特定財源制度は維持した上で、真に必要な道路整備を計画的に行うために必要な予算を確保する必要があります。

- (1) 受益者負担の原則に基づく道路特定財源制度を維持し、社会資本整備重点計画の推進に必要な道路整備予算の確保を図ること。
- (2) 高規格幹線道路から住民に最も密着した市町村道に至るまで道路網の総合的・体系的な整備を一層促進すること。
- (3) 積雪寒冷で広域分散型地域構造である北海道の地域特性を考慮し、国道をはじめ道道、市町村道まで今後とも、安定的・継続的な管理及び整備が図られるよう道路特定財源による予算を充実すること。

3. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

(1) 国際化の進行により、国際規格の大型コンテナが活用されています。物流輸送の効率化、安全性・確実性確保のため、狭小トンネルの解消や線形不良個所の改良、代替路線の確保に資する道路整備を重点的に進める必要があります。

浦幌町においては、国道・道道・町道の整備を促進する必要がありますが、国道 38 号は、釧路港を拠点として、十勝・道央との物資流通のため、また、国道 336 号も道央、道南地域からの物流の重要な路線であり、を強力に押し進めるべきです。

(2) 浦幌の地域は、泥炭地で道路の地盤沈下などがひどく、橋梁やマンホールとの段差が毎年起きて、修繕に多大な経費がかかっている状況にあります。地震の多発している地域においては災害に備えるためにも、地盤の弱い箇所の道路強化を重点的に進める必要があります。

4. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

(1) 国民の要望の強い高速道路料金の引き下げなどによるネットワークの効率的活用を進める必要があります。

(2) 町道の維持管理している永久構造物が老朽化してきており、幅員等の狭隘に対する改善も求められていますが、架け替えするにも膨大な費用がかかるため、対応が遅れている区域もあります。これら永久構造物にかかるトータルの費用の縮減を促進するために、橋梁等の長寿命化修繕計画に基づく効率的な維持管理を行う必要があります。

5. 地方の課題解決に資する中期的な計画の作成

地域間格差への対応や生活者重視の視点を踏まえつつ、地方の活性化や自立に必要な地域の基幹道路の整備や高速道路や高次元医療施設への広域的アクセスの強化など地域の自主性にも配慮しながら、地域経済の強化、安全安心の確保など、地方の道路事情を勘案し地域のかかえる課題解決を優先的に進める必要があります。

道路特定財源により必要な予算を充当するとともに、今後、作成される計画へ地方の意見が反映されることを要望するものであります。